

・ 豊かな自然と身近にふれあえるまち

丸亀市の自然環境は、南部地域などの田園地帯や島しょ部における自然海岸、自然植生など緑豊かな自然環境を有しています。

市民アンケート調査などでは、自然環境に対する意識は、中心部に丸亀城（亀山公園）があることなどから、「緑が少ない」といった一般的な都市のマイナスイメージはあまり見られません。近隣公園の不足などのため、身近に緑と親しめると感じている人は少なくなっています。

また、以前よりも自然環境が悪化していると感じている人が多いことから、全ての市民が、普段の生活において身近に自然を感じられるような施策を進め、「豊かな自然と身近にふれあえるまち」を目指します。



土器川生物公園での自然観察会

4 1 野生生物の生息・生育空間の確保

丸亀市では、水田やため池まわりなどの田園地域を中心に身近な野生生物が生息しており、そこでの食物連鎖の上位に位置するのは、サギなどの大型の野鳥です。サギは田園の生物多様性を示す指標の一つとなっています。

しかし、近年の土地利用転換などにより身近な野生生物の生息・生育空間は分断・縮小され、サギの餌となるような小魚、昆虫、カエルなどの個体数が減少しています。

市内でも特に野生生物の生息・生育空間が多く残っている島しょ部においては、今後もその貴重な生息空間を大切に守っていく必要があります。

野生生物にとって良好な生息・生育空間を確保することで、多様な生物種を保全していくことが必要です。

4-1-1 樹林・田園の保全

1. 緑のまちづくりの推進 丸亀市緑の3倍増推進計画策定

丸亀市緑のまちづくり条例に基づく実行計画として、平成12年度に「丸亀市緑の3倍増推進計画」を策定しました。

本計画は「人、まち、緑の日々の出会いと交流」を基本に、市民、事業所、行政が実践すべき緑の整備方針と市内の街路、公園、学校などへの緑の集中投資事業について定められています。

2. 自然公園

香川県の自然公園としては、自然公園法に基づき瀬戸内海国立公園が指定されています。そのうち丸亀市においては、塩飽諸島(本島、広島等)、飯野山(讃岐富士)が指定されています。

3. 自然記念物

植物、地質、鉱物等で住民に親しまれているものや由緒のあるもの又は学習的価値のあるもののうち、その周辺の土地と一体となって良好な自然環境を形成しているものを保護するため、「香川県自然環境の保全と緑化の推進に関する条例」に基づき自然記念物が指定されており、丸亀市においては植物として、昭和58年3月25日に丸亀市土器町字宮の浦の「十二社宮社叢」が指定されています。



十二社宮社叢と飯野山

4. 保存樹木・保存樹林

丸亀市では、丸亀らしい都市景観の創造を目指して、平成7年に「丸亀市都市景観条例」を制定しました。この条例に基づき、平成11年度に市制施行百周年を記念して3件の保存樹木と1件の保存樹林を指定しました。さらに、平成12年度には2件、平成15年度には1件の社叢林を保存樹林として指定しました。

私たちの生活に潤いを与え、都市景観の要素のなかでもとても大切な「緑」について、景観形成にとって重要な樹木などを保存樹木・樹林として指定し、広く市民の皆さんにPRすることで、景観に対する意識をさらに高めていただきたいと思います。

安らぎを感じることができる緑あふれるまちづくりのためには、私たち一人ひとりが緑の育成や緑化活動にかかわることが必要です。

| | 指定年度 | 樹種・樹林名 | 所在地 |
|---|-------|-----------------------|------------|
| 1 | 平成11年 | クロガネモチ | 飯野町東二（中尾邸） |
| 2 | 〃 | スギ | 飯野町東二（飯神社） |
| 3 | 〃 | エノキ | 川西町北（鷺岡邸） |
| 4 | 〃 | クスノキ巨木4本を含む社叢 | 津森町（津森天神宮） |
| 5 | 平成12年 | クスノキやクロガネモチなどの大木が多い社叢 | 金倉町（八十主神社） |
| 6 | 〃 | クスノキなどの大木がある社叢 | 垂水町（垂水神社） |
| 7 | 平成15年 | クスノキやアラカシを主体とした社叢林 | 川西町北（春日神社） |

4



5



3



7



6



2



1



5. 保存木（香川県指定）

大径木等の保存を図るため「香川県樹木の保存に関する要綱」に基づき香川の保存木が平成 17 年 3 月 31 日現在で 135 件が指定されています。そのうち丸亀市に係る保存木は次のとおりとなっています。



香川の保存木

長徳寺のモッコク

| 名 称 | 所在地 | 指定年月日 |
|-----------|-----------------|---------------------|
| 光雲寺のモッコク | 丸亀市郡家町 3028 | 昭和 54 年 2 月 27 日指定 |
| 長徳寺のモッコク | 丸亀市本島町笠島 484 | 昭和 60 年 3 月 26 日指定 |
| 春日神社のアキニレ | 丸亀市川西町北 627 - 2 | 平成 5 年 3 月 23 日指定 |
| 真光寺のマツ | 丸亀市御供所町 2-1-7 | 平成 15 年 8 月 8 日指定 |
| 八幡神社のクスノキ | 丸亀市飯山町下法軍寺 1410 | 平成 16 年 10 月 29 日指定 |

6. 鳥獣保護区

香川県における鳥獣保護区は、森林鳥獣の生息地、集団渡来地等について鳥獣の保護繁殖を図るため、環境大臣又は都道府県知事が設定するものであり、区域内では、鳥獣の捕獲が禁止されているほか鳥獣の保護繁殖のための施設整備も行われています。平成 17 年 3 月 31 日現在、県設は 24 か所、延べ 8,955 ヘクタールを設定し、保護繁殖に当たっています。

丸亀市における鳥獣保護区設定は、次のとおりとなっています。

| 名 称 | 所在地 | 設定期間 | 目 的 | 面 積 |
|----------|----------|--------------|-------|-------|
| 青の山鳥獣保護区 | 丸亀市、宇多津町 | 平成 14 年～24 年 | 誘致地区 | 300ha |
| 田村池鳥獣保護区 | 丸亀市 | 平成 11 年～21 年 | 集団渡来地 | 24ha |



太井池の水鳥

4-1-2 水辺の保全

多様な生物が生息するには水辺の生息環境の保全が不可欠です。そこで、人工的に開発された海岸や河畔などの水辺を自然に近い形で復元することなどによって、多様な生物の生息環境を保全・復元する必要があります。

香川県では平成 12 年度に、水環境保全の意識の向上と、水環境を保全する様々な活動を推進するため、「残したい香川の水環境 50 選」を選定しました。丸亀市内では「園の洲」と「土器川（土器川生物公園付近）」、旧飯山町の「楠見池」、旧綾歌町の「中大東川・琴ヶ滝」が選定されています。

また、平成 14 年度には、「土器川生物公園」が「四国のみずべ八十八カ所」に選定されています。

残したい香川の水環境五十選

(市内選定箇所)



土器川生物公園

「土器川生物公園」は、県内唯一の一級河川土器川の河口から約 9 km の地点にある、川の自然をあるがままに再現した公園です。人と自然が共存しながら生物たちと対話できる環境が整っています。

公園では、鳥類（カワセミ、ツグミ等）、昆虫類（キアゲハ、オニヤンマ等）、魚類（メダカ、ドジョウ等）植物（ミズアオイ等）など様々な生物を見ることができます。



園の洲

「園の洲」は、丸亀市の本島と広島市のほぼ中央に位置し、南北に約 2 km 東西に約 800m の広さの砂浜で、大潮の時に 2 ~ 3 時間ほど海面に現れます。昔はさらに広く、もう少し南にあったといわれています。「園の洲」という名前は、今から 350 年ほど昔、福田の庄屋の妻（娘という話もある）お園さんの悲しい物語に由来しています。



楠見池

「楠見池」は、飯山町の東部に位置する貯水量 78.3 万 m³ のため池です。正保年間（1644～48）に松平頼重の家臣、矢延平六によって築造され、農業用水など貴重な水瓶となっています。

桃畑に囲まれた水辺は、ハイキングや釣り場として親しまれており、池畔から眺める光景は、飯野山を背景に風になびく水面や橋が美しく調和し、名園さながらの魅力にあふれています。



琴ヶ滝

「琴ヶ滝」は、綾歌町の南部に位置する森林公園のほぼ中央にあり、美しいヒノキの林の中で神秘的な趣を呈しています。この滝は、長さが約 100m あり、猫谷池を経て、中大束川へ流入しています。

岡田甚句集の名所古蹟ずくしでは「愛宕の滝と銚子滝。雄滝雌滝の琴ヶ滝」と謡われ、古くから景勝地として語り継がれています。

平成 16 年の台風により崩落

日本の水浴場 88 選

環境省は、水質が快適な水浴場を広く普及するために、全国から「日本の水浴場 88 選」を選定しました。丸亀市では、本島泊海水浴場が選定されています。



4 2 自然の一員・丸亀市民の育成

自然とふれあう機会や場をできるだけ多く設けることや環境教育を充実させることにより、自然の大切さを学び、生物に対するやさしさ・思いやりの心を育てることを目指します。豊かな自然を守り育てていくためには、身近な自然を取り戻す意識を持ってもらうことが何よりも大切です。そして、学校教育や生涯学習における環境教育プログラムを充実させ、子どもから大人まで体系的な環境教育を推進する必要があります。

4-2-1 生き物とふれあえる活動の展開

丸亀市内で行われた生き物とふれあえる主な行事

| 実施年月日 | 行事名 | 参加人数 | 行事内容 | 主催 |
|----------|--------------------------|-------|---|---------------|
| 16. 6. 5 | ふれあい環境探検隊 (自然観察会) | 約 30 | 土器川生物公園で、市内小学生と保護者を対象に、樹木や植物などの観察を通して自然環境について関心を深めるため、自然観察会を実施。 | 丸亀市 |
| 16. 7. 3 | 第5回われらDOKI・DOKI土器川体験隊 | 約 150 | 土器川の中で、稚魚の放流、川遊び(魚類調査、生物調査)、親水護岸周辺の清掃、河川工事現場見学を実施。 | 国土交通省 |
| 16. 7. 4 | 土器川生物公園で自然と遊ぼう | 約 250 | 自然の生態観察や大七夕かざりづくり川遊び、魚のつかみどりなどを実施。 | 丸亀市緑のまちづくり協議会 |
| 16. 7.23 | ふれあい環境探検隊 (水辺の教室) | 約 50 | 香川県、丸亀市淡水漁業組合、瀬戸内海環境保全協会の協力を得て、市内小学生と保護者を対象に、西汐入川、金倉川の水辺において水生生物調査や水質検査、魚類調査などの体験学習を実施。 | 丸亀市 |
| 16. 8.11 | 星空探検隊 (スターウォッチング) | 約 65 | 土器川生物公園で、市内小学生と保護者を対象に星空観察を通して、大気環境について考えるため、星空観察会を実施。 | 丸亀市 |
| 16.11.20 | ふれあい環境探検隊 (バードウォッチング) | 約 35 | 土器川生物公園で探鳥会を開催。日本野鳥の会香川県支部の方が指導。平成16年度は29種類の野鳥が観察できました。 | 丸亀市 |
| 17. 2.19 | ふれあい環境探検隊 (冬のため池探検隊) | 約 20 | 宮池周辺(土器町)で探鳥会を開催し、渡り鳥など冬鳥を観察。平成16年度は32種類の野鳥が観察できました。 | 丸亀市 |